



334複合地区スローガン
“We Serve”
心を合わせ多様な奉仕

334-B地区スローガン
GATグローバルアクションチームを理解し
“ウィサーブ”で正の連鎖を築こう

岐阜西ライオンズクラブスローガン
頑張ろうアクティビティ！羽ばたこうライオンズ！

2019年 11月 第一例会 905回
11月12日(火) 於 ホテルグランヴェール岐山 12:15～

例会プログラム

第905回 教養例会

- | | | |
|---------------------|------------|---------|
| | 司会 | L.伊藤(隆) |
| 1 開会ゴング | 会長 | L.追立 |
| 2 国歌並びにライオンズクラブの歌斉唱 | | |
| 3 ゲスト及びビジターの紹介 | | L.志智 |
| 4 慶祝行事(誕生祝) | | L.追立 |
| 5 会長挨拶 | | L.追立 |
| 6 アワードの伝達 | | L.追立 |
| 7 講演「再犯と勤労」 | | |
| | 岐阜保護観察所 所長 | 長尾和哉 様 |

< 食 事 >

- | | | |
|---------------|--------|------|
| 8 幹事報告 | | L.山口 |
| 9 各委員会報告 | | |
| 10 テールツイスター登場 | TT | L.森田 |
| 11 出席報告 | 出席大会委員 | L.豊田 |
| 12 会計報告 | 会計 | L.岩田 |
| 13 閉会ゴング | | L.追立 |

会長・幹事報告

第905回 幹事報告

- 11月10日(日)第1回京都嵐山ライオンズクラブ杯フットサル大会がフットサルスクエア京都南に於いて開催され、開会式に幹事L.山口、青少年健全育成委員長L.伊藤(正)の2名が参加致しました。
- 11月26日(火)第2回キャビネット会議がウインクあいちに於いて開催され、地区アラート委員長・MC・地区誌副委員長L.水田が出席致します。
- LCIF1,000ドル献金(レート108円)をテールツイスターL.森田が実施致しました。



ライオン誌日本語版メールニュース

[2019年11月1日 配信]

<https://www.thelion-mag.jp/>



会計報告

ドネーション	9人	金額	75,000円
ファイン	3人	金額	10,000円
Boxファイン		金額	円
合計	12人	金額	85,000円

出席報告

会員数	48人
出席数	42人
出席率	87.5%

次回例会案内

日 時: 11月26日(火)12:15から
場 所: 一宮西病院
例会名: 健康例会

慶祝行事

誕生祝 7日 L.後藤清七 11日 L.森田勝也
17日 L.宮田英雄 27日 L.河野秀明
28日 L.小林良之

会長挨拶

会 長 L.追立涼子



みなさんこんにちは。最近朝晩が本当に寒くなりました。先ほど、小学校がインフルエンザで学級閉鎖になったと家族から連絡があり、もうそんな時期になったんだなと感じました。みなさんも、うがい手洗いを励行し、風邪を予防して健康にお過ごし頂ければと思います。

本日は岐阜保護観察所の長尾所長に来ていただき、ご講話頂きます。私も先日、法務大臣表彰を頂きました。その節はお世話になりました。私も保護司をしておりますので、色々考えさせられることがあります。そして、笠松女子刑務所で教育もさせて頂いております。いつも胸を痛めながら更生のお手伝いをさせて頂いております。

後程、長尾所長より素晴らしいお話をして頂けると思いますので、よろしくお願い致します。

特別記事

講演「再犯と勤労」

岐阜保護観察所 所長 長尾和哉 様

この度、会長の追立涼子様におかれましては、長年の保護司のご功績を称えられ、法務大臣表彰を受けられましたこと誠にありがとうございます。加えまして、株式会社アイ・ドゥー様におかれましては協力雇用主としてのご功績により法務大臣より感謝状が届いております。

最近の治安情勢は、数字では良い方向に向かっており、刑法犯の認知件数については、平成30年度は全国で約81万件と減少傾向にあります。平成14年は300万件に迫る勢いでしたので、今や3分の1です。その一方で、刑務所での受刑を繰り返す人が減りません。刑務所を出所しても2年以内の再入所率が17.3%、5年以内は38.2%という問題があります。この背景には少子高齢化が影響しております。



岐阜少年鑑別所は定員19名のところ、3～4名が入っているという良い傾向にある中、刑務所に於いて高齢者が増えています。出所しても、家族がいない、行くところがないなどの理由で路頭にまよう厳しい現実。これまで私が目にした最高受刑回数の方は41回という方がおりました。薬物の犯罪もそうです。平成30年度末での罪名別受刑者数を見ますと、男子刑務所内での第2位が「覚せい剤取締法違反」受刑者のうちの約4分の1、女子刑務所内に至ってはなんと第1位で約6割という数字です。これを見るとやはり、薬物依存からの立ち直りがいかに大変なことが分かります。

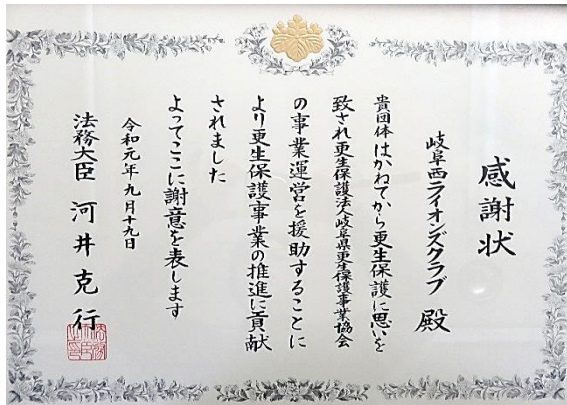
受刑を繰り返す人をいかに減らすかが国をあげての大きな課題であります。立ち直りの特効薬はありません。ですが、確実に立ち直った方も相当数います。明るく健康な居場所と出番を見つけると、劣等感・孤立感から、時間をかけて自分なりに自己有用感、仲間意識が芽生えてくる状態になる。同時に彼らを受け入れる地域の方の協力も必要不可欠であります。受刑者一人当たり年間に税金300万円以上がかかります。受刑者が増えると国家財政を圧迫することになり、彼らが出所後刑務所に戻ることなく働き続けることができれば、税金で養われる立場から税金を納める立場へと変身させることができるわけであります。このマイナスからプラスへの転換は意味のあることであり、なによりも被害者を生み出さないことが一番であります。この成果は計り知れないものがあると感じます。

最近、額に汗してコツコツ働く日本人の美学が懸念されます。「欧米人は働くことが罰で、苦痛と受け止める。働かないことが理想で、そこに幸せを見出す。一方、日本人は、仕事に喜びを感じ、仕事仲間との繋がりを大切にしている。」～(ネルケ無方 曹洞宗住職 著「日本人に宗教はいらない」抜粋)～ 欧米では禁固刑はあっても懲役刑はありません。懲役刑というのは、刑務作業に服するという事で刑務所に入っています。日本人は勤労観がベースにあるので、働くことがその人を助けることになります。最近の若い方の将来何になりたいかという職業アンケート1位は、Youtuberであり、これは楽をしてお金儲けをしたいという表れではないかと懸念しております。楽をしてお金を儲けるということは、犯罪に近い発想になります。日本がこれだけ治安がいいのは、やはり額に汗してコツコツ働くという美学があるからだだと思います。ライオンズクラブの皆様はまさにこの勤労観を大切になさっている方々だと思いますので、これからの若い世代に働く素晴らしさを伝えていただけると有りがたいと思う次第です。

一昨年、再犯防止推進法という画期的な法律ができました。国だけでなく都道府県・市町村それぞれが垣根を乗り越えて、まさに地域ぐるみで罪を犯した人の立ち直りの舞台をつくっていかうという法律でございます。岐阜市ではまさに今、再犯防止推進計画をすすめているところでありまして、これは、再犯率をあげている高齢者や精神障害・発達障害を抱えている人(重たい荷物を抱え込んでいる人)は一つの機関では十分ではなく、重たい荷物はみんなで抱えていかうという地域ぐるみの趣旨でございます。これを踏まえまして、皆様にもそれぞれの立場で再犯防止に向けてご協力していただきますようお願い申し上げます。刑務所出所者ですら支援する社会＝優しい社会＝いわんやそうではない方をやという感じで、困った人に寄り添う地域社会を実現していくことを願っています。

法務大臣からの感謝状授与

7月10日「社会を明るくする運動」強化月間に合わせて行った、岐阜県更生保護事業協会への寄付金贈呈に対する法務大臣からの感謝状を頂きました。



アワードの伝達

●LCIFキャンペーン100アワード

「ライオン・デディケーション ピン」受賞

L.水田誠、L.広瀬恵子、
L.河野秀明、L.杉野正次郎（写真左から順）



●100周年記念会員増強プログラム

「ダイヤモンド100周年
ライオンピン」受賞

L.志智慈朗



●2018-2019年度 LCIFクラブ会員平均 寄付額 50ドル達成 バナー パッチ受賞

前会長
L.広瀬恵子



●LCIFキャンペーン100アワード

「ライオン・アクション ピン」受賞

L.堀哲也、L.伊藤正樹、L.志智慈朗、
L.大橋良広、L.山田敏夫（写真左から順）

誕生祝



7日 L.後藤清七 11日 L.森田勝也
17日 L.宮田英雄 27日 L.河野秀明
28日 L.小林良之

おめでとうございます！